

講習の名称	【必修】教育の最新事情	講習番号	A-1
開催日	平成29年8月3日(木)	定員	80名
主な受講対象者	小・中・高等学校教諭		
担当講師	長島 康雄(経済学部教授)・久永 哲雄(経済学部教授)・ 崔 玉芬(経済学部専任講師)・石崎 ちひろ(経済学部専任講師)		
講習の概要	以下の4項目について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。 ・国の教育政策や世界の教育の動向 ・教員としての子ども観、教育観等についての理解 ・子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見 ・子どもの生活の変化を踏えた課題		
講習計画 (1日目)	09:00~10:15 (75分)	国の教育政策や世界の教育の動向 今日の日本の教育政策の変遷について概略的に示しながら、今日の世界の教育動向(特にアメリカ、イギリス)について理解を深める。	
	10:15~10:30	休憩	
	10:30~11:45 (75分)	子どもの生活の変化をふまえた課題 公的な機関、民間のシンクタンクが調査した子ども生活の変化に関する資料の読み取りを通して子どもの生活の変化をとらえる。その上で、どのような課題があるのかについて考察する。	
	11:45~12:15 (30分)	試験 筆記試験を行います。	
	12:15~13:00	昼食休憩	
	13:00~14:15 (75分)	教員としての子ども観、教育観等についての理解 教育的愛情、倫理観。遵法精神やその他の社会的要請の強い仕事について理解する。また、若手、中堅、ベテラン層のライフスタイルから仕事を考える。	
	14:15~14:30	休憩	
	14:30~15:45 (75分)	子どもの発達に関する脳科学、心理学における最新の知見 心理学、脳科学の視点から、子どもの発達について考える。現代社会において、子どもの変容をどのように理解していきことができるのかについて考察する。	
	15:45~16:15 (30分)	試験 筆記試験を行います。	
	16:15~16:25	事後評価アンケート	
	成績評価の観点	資料の読み取り、あるいは最新の心理学の知見から、日本の抱えている教育課題をとらえることができたか、ならびに教員が身につけるべき能力について自覚できたかを評価の観点とする。	
	備考		